

夢つむぐ島 一島人みんなで織り上げる未来



「学ぶ」世代のために▶幼児・小中高等学校教育の充実

小中学校教育の充実



今回のテーマは、「学ぶ」世代のために～小中学校教育の充実～についてお伝えします。

現状と課題

教育現場

- ◆令和元年度全国学力・学習状況調査の結果は、全国に照らして小学生1.3ポイント、中学生1.7ポイント上回っています。
- ◆令和2年度からは新学習指導要領に基づき、SDGs達成に向けた「ESD（Education for Sustainable Development／持続可能な開発のための教育）」に取り組んでいます。

教職員の育成・確保

- ◆教職員の資質向上を図り、小中学校における授業改善を行うための支援が求められています。
- ◆令和2年度から小学校において英語が必修化されました。専科制でないことや授業実数の増加により小学校においては教員の負担が大きくなっています。

保護者や地域との連携

- ◆経済的理由によって就学困難と認められる児童生徒の保護者に対して、必要な援助を継続的に実施し、十分な学習機会

の提供に取り組む必要があります。

- ◆保護者と連携した家庭教育の充実を図る必要があります。

学校及び関連施設

- ◆わかりやすく理解が深まる授業の実践のため、授業におけるICT活用の推進が求められています。
- ◆未耐震の棟を有する学校施設があり、早急な対策が必要となっています。
- ◆学校施設の老朽化が進んでおり、快適な教育環境の提供に支障をきたしています。施設の不備等が多岐にわたり、対策や維持管理がままならない状況にあります。
- ◆教職員住宅の老朽化が進み、通常の修繕対応は限界に達しています。
- ◆学校給食センターは、整備から40年以上経過しています。より安全・安心な給食の提供に向けて、施設の早期建て替えが必要となっています。

施策の展開

教育内容の充実

- ◆学習活動の充実と強化を今後も継続し、学力及び体力の向上を図ります。
- ◆ESD教育を通して持続可能な社会づくりの担い手育成を推進し、SDGsの達成に努めます。
- ◆豊かな心を育むためにも、道徳教育や人権教育、食育、児童生徒指導など、学力や体力以外での教育の充実も図ります。
- ◆スポーツ・文化等の各種大会への派遣、修学旅行の交通費等への補助など、格差のない充実した教育を推進します。
- ◆生活習慣や環境・文化・気候の異なる地域での様々な体験や交流を通して広い視野を持った児童生徒の育成に努めます。
- ◆学校の働き方改革として、教職員の業務の効率化（負担軽減）、校務の情報化、研修会への参加（町主催含む）を推進します。

地域・家庭と連携した教育力の向上

- ◆家庭の状況により援助が必要な児童生徒の保護者に対し、必要

な援助が適切な時期に支給されるよう、制度の周知に努めます。

- ◆地域コーディネーターや家庭教育支援員を確保・育成し、学校と地域が連携した教育支援体制の強化、地域人材バンクの共有化を図ります。

教育環境の整備

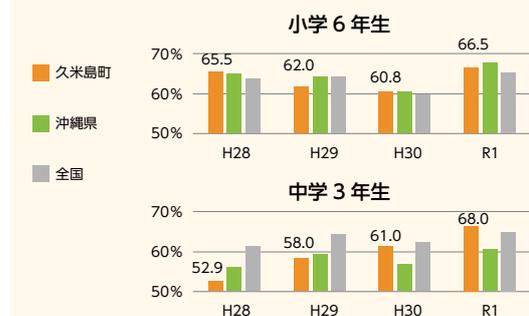
- ◆学校におけるICT環境整備（GIGAスクール構想）を推進し、児童生徒の情報活用能力の育成を図ります。
- ◆小中学校施設及び関連施設のランニングコストを軽減するとともに、適切な維持管理及び快適な教育環境の整備を図ります。
- ◆教職員の安全・安心な住居の確保に努めます。
- ◆老朽化が進む学校給食センターの建て替えは、PFI手法等の民間活力の活用を視野に入れた検討を行います。

目指そう指標

全国学力・学習
状況調査における
平均正答率の
全国との差

	基準値 (平成27年～令和元年平均)	目標値 (令和3年～7年平均)
小6	+1.1ポイント	+2ポイント
中3	-6ポイント	±0ポイント

全国学力調査結果



後期基本計画の全体版は久米島町ホームページに掲載しています。
右のQRコードか、「久米島町 総合計画」で検索できます。

久米島町総合計画

検索

